

はままつ健康フォーラムは、多くの人が大きな関心を持っている「健康」「医療」について、専門的な知識と経験が豊富な講師が分かりやすく講演するものです。

正確な情報を得て、生活の質の向上や病気の予防や予測へとつなげていきましょう。

今回の講演は「お腹が痛い…急性腹症について」と「肝臓、胆道、膵臓の腫瘍とその外科治療」について解説していただきました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、2022年7月30日に講演の内容を収録しました。

講演 2

肝臓、胆道、膵臓の腫瘍とその外科治療

ここでは肝がんについて解説します。肝がんは大きく原発性肝がんと転移性肝がんに分かれます。原発性肝がんとは肝臓の細胞から発生したがんであり、代表的なものは「肝細胞癌」「肝内胆管がん」などです。また転移性肝がんは、ほかの部位のがんから肝臓に「転移」してきたもので、もともとどの部位のがんの性格を持っています。外科手術の対象となる代表的なものは大腸癌からの転移性肝がんです。当科の肝切除例もこの2つが全体の80%以上を占めます。

肝がんの外科治療のポイント

- ①採血、負荷試験、画像診断（超音波、CT、MRI、シンチグラフィなど）を駆使して腫瘍と背景の肝機能を細かく把握し、ガイドラインに沿った治療内容を安全かつ迅速に実行する
- ②肝細胞がんでは肝炎治療後の発がん症例や、増加傾向にある非アルコール性脂肪性肝疾患からの発がん症例を不必要に進行

肝臓

私が専門とする肝臓、胆道、膵臓の領域の腫瘍は多くが悪性腫瘍（いわゆるがん）であり、根治治療としては未だに外科治療（手術）が中心となっています。今回は肝臓、胆道、膵臓のがんの外科治療について、一般的なお話と自身の経験を交えて解説します。

はじめに

落合 秀人 氏

浜松医療センター 消化器外科部長
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
日本膵臓学会指導医



【前編】（配信時間約20分）

<https://youtu.be/PoRVsuCR7eE>

動画配信はこちらから▶



【後編】（配信時間約25分）

<https://youtu.be/DZGTsYx9uYI>

動画配信はこちらから▶



膵臓は発生由来の細胞によつていろいろな種類の腫瘍がありますが、ここでは最も頻度の高い膵臓がん（一般的な膵臓がん）について解説します。膵臓がんの罹患率及び死亡率は年々上昇しており、国内に局限したもので5年生存率は42.1%で、周囲のリンパ節や隣接臓器浸潤に広がった「領域」の状態だと12.4%とかなり生存率は低くなります。5年相対生存率の年次推移は2000年以降、遠隔転移のない症例に関しては少しずつ生存率は良くなってきていますが、それでもほかの領域のがんに比較すると治療成績は良くありません。

膵臓診療ガイドラインでは膵臓がんの進行度によつて治療法を分けています。大まかに説明すると、

- ①早期のもの

膵臓

②遠位胆管癌および乳頭癌・リンパ節郭清を伴う膵頭十二指腸切除術

③胆嚢がん・術前の画像診断等でのがんの広がりを判定し、切除範囲（肝および胆管その他の臓器）を決定する

胆道

胆道とは肝臓で合成された胆汁の通り道です。その中には胆管（肝門部領域胆管と遠位胆管に分類）、胆嚢、十二指腸乳頭部が含まれます。胆道がんの外科治療のポイント

- ①肝門部領域胆管がん…可能な限り切除・予想残肝機能が低い場合には必要に応じて肝切除前に門脈塞栓術
- ②遠位胆管癌および乳頭癌・リンパ節郭清を伴う膵頭十二指腸切除術
- ③胆嚢がん・術前の画像診断等でのがんの広がりを判定し、切除範囲（肝および胆管その他の臓器）を決定する

させないため、消化器内科、内分泌内科と連携を取りながら診療する

- ③転移性肝がんもガイドラインに沿った切除の方針とする（当科ではできるだけ積極的に切除し根治を目指している）
- ④安全性と低侵襲のバランスを考慮しながら腹腔鏡下肝切除を進めていく

【参考文献】
全国がん罹患率・死亡率集計 2009-2011年生存率報告
国立がん研究開発センターがん対策情報センター
独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上」に活用に関する研究「平成22年度報告書」

最後に

肝臓、胆道、膵臓の悪性腫瘍の予後は決して良くありませんが、怖いからと放置せずしっかりと定期検査をして、不安なことがあればかかりつけの先生を通して当院を受診して下さい。外科治療はリスクも苦痛も伴いますが、あなたが病気に真剣に立ち向かうのであれば、出来る限りお手伝いさせて頂きます。

抗がん剤治療

膵臓がんの手術はがんの部位と広がりによつていくつかに分けられていますが、他の部位の手術に比べて合併症が多いのが特徴です。また膵臓を切除することで消化吸収や血糖コントロールなどの機能が低下するため、術後にはそのフォローが必要となります。また当科では昨年度から悪性腫瘍に対しても膵内に局限した症例は腹腔鏡下膵体尾部切除術の適応としていますが、周囲組織に浸潤しているものや明らかにリンパ節転移のあるものに関しては適応から外しています。

手術してから再発予防の抗がん剤内服

- ②少し進んだもの
- ①と同じでよいものと、①だと再発率が高くなるものに分けて、再発率が高くなるものには抗がん剤（放射線）をしてから手術するかどうか決める。
- ③ほかの臓器に転移があるもの

講演 1

お腹が痛い…急性腹症について

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

盲腸とも言われる急性虫垂炎

救急搬送された患者さんのうち、約5%は急性腹症であり、救急外来受診者の5～10%は腹部疾患です。性別・年代別の数値を見ると、男女ともに腸管感染症が多く、急性虫垂炎は20歳未満の女性に多くみられています。腸閉塞などは60歳以上の女性特有の子宮・卵巣の炎症または妊娠関連疾患などは、20～40歳までの女性に多い傾向です。

激しい痛みを伴う腹痛の総称「急性腹症」
腹痛はよくある症状であり、重要ではない場合も多くあります。しかし、中には早急に診断・治療を必要とするものもあります。急性腹症は、急に発症し、激しい腹痛を伴う数多くの疾患の総称です。今回は、急性腹症の中でも、緊急手術が必要になる疾患についてです。

激しい痛みを伴う腹痛の総称「急性腹症」

寺谷 直樹 氏

浜松うつさい病院 院長補佐
入院・外来診療部統括部長
外科部長・救急部長



【前編】（配信時間約15分）

<https://youtu.be/psxbs2U7u40>

動画配信はこちらから▶



【後編】（配信時間約20分）

https://youtu.be/wXKDrXGW_ZU

動画配信はこちらから▶



胃と大腸の疾患
ウイルスや細菌などが胃や腸に感染をすることで起きる急性胃腸炎は、原因となる病原体はさまざまですが、カキなどを食べたときに起こるノロウイルスや、生の鶏肉を食べたときに起こるカンジダ菌や、細菌が有名です。症状も大部分は軽症ですが、重症化することもあります。基本的には、保存的治療（内科的）を行います。主な症状は、吐き気や下痢です。下痢の原因は、食あたりや食物アレルギーなどが発生した場合に細菌等により炎症が起る分泌性下痢、高浸透圧性物質の摂取による浸透圧性下痢、ストレスや暴飲暴食によつて引き起こされる亢進性下痢の3つがあります。

消化管の一部分のみが、袋状に外側へ飛び出た状態の憩室は、大腸によく見られる状態です。普通はまったりの無症状ですが、内部が便で満たされ、細菌が増殖することによつてひき起こす炎症が、大腸憩室炎です。最近では20～30歳代からみられ、食文化の欧米化が原因とも言われています。好発部位は、上行結腸とS状結腸で、虫垂炎との鑑別が大事です。基本は保存的治療ですが、憩室膿瘍をきたしていたり、穿孔していたりする場合は、外科的治療が必要になります。

盲腸は、何らかの原因で腸の中の消化物、便の通りが滞り、消化器内科、内分泌内科と連携を取りながら診療する

- ③転移性肝がんもガイドラインに沿った切除の方針とする（当科ではできるだけ積極的に切除し根治を目指している）
- ④安全性と低侵襲のバランスを考慮しながら腹腔鏡下肝切除を進めていく

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

急性虫垂炎は、盲腸とも言われています。虫垂とは、盲腸から細く伸びる器官です。急性虫垂炎とはこの虫垂が、便や食事の残渣などが詰まることにより、感染を引き起こした状態のことを言います。初期の症状は吐き気や心窩部痛で、時間とともに右下腹部痛がひどくなります。虫垂の開口部が炎症を起こすこと

【主催】はままつ健康フォーラム実行委員会

【構成団体】浜松市医師会、浜松市、浜松市内病院長会、中日新聞東海本社、静岡エフエム放送 【後援】静岡県、静岡県病院協会、静岡県看護協会、浜松商工会議所 【企画・制作】中日新聞東海本社広告部

私たちは、はままつ健康フォーラムへの協賛を通じ、市民の皆様の健康づくりを応援してまいります！

特別協賛



協賛

浜松いわた信用金庫



静岡県予防医学協会



株式会社杏林堂薬局



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

介護付有料老人ホーム 浜名湖エデンの園



メタボは
30代
から

糖尿病は
40代
から

心筋梗塞は
50代
から

成人1日の塩分（食塩相当量）は
男性 7.5g 未満、女性 6.5g 未満が目標です。
1日の塩分摂取量を目安に

“無理なく続けよう 減塩らいふ！”